



たいしも通信

皆さんはお花見、行かれましたか？ 下関のお花見と言え
ば、戦場ヶ原公園が有名ですよ。今回は下関の戦跡シリーズ
その3ということで、その戦場ヶ原公園を取り上げることとし
ます。

◆戦場ヶ原という名前

実は戦場ヶ原という名で有名なのは日光です。環境省作成の銘
板によると、『むかしむかし、中禅寺湖をめぐって男体山の神と上
州赤城山の神が、へびとむかでをひきつれて戦ったという伝説か
ら、戦場ヶ原という名がつけられました。』とあります。これについ
ては昔、実際に領地争いで戦乱があった、とか、当時の戦場が
広い原野であったことから「千畳が原」に由来する、などの説も
あるそうです。

◆戦場ヶ原公園

では、下関の戦場ヶ原はどうか？ ここで少しおさら
いしてみましよう。
実際の地名は後田町で、幕末に報国隊の教練場が作られ、明治
維新後は戦没隊士を一時祀り、当時、旭陵（あさひがおか）と呼
ばれていました。

その後、市の中心部は太平洋戦争前（といっても完成は明治 24
年）にドイツ人メツケル設計による大きな要塞となったのは皆さ
んもご存知だと思います。そして現在の戦場ヶ原公園の場所には
貴船町に司令部を置く下関重砲兵連隊の堡壘（コンクリ製で敵の
攻撃を防ぐ陣地）があり、戦後は昭和 40 年から山口県によって
公園化がすすめられ、敷地内に「忠霊の塔」、「戦傷の碑」等が建
立され、毎年戦没者の慰霊祭が行われています。

◆忠霊塔

下関市連合遺族会により、戦後 50 年の平成 7 年に整備された銘
版から抜粋すると、『日中戦争において、国に命を捧げた人々の至
純な霊を慰めるため、忠霊塔建立の気運が全国的に高まる中、下関
市においてはその場所として市の中心に位置し、全方位から拝す
ることができる旧下関重砲兵連隊の堡壘であった、ここ戦場ヶ原
が早くから選定』され、『1942年に軍・官・民一体となって建
立され、その後数回にわたる戦争で国難に殉じた郷土出身の約 4
800名の戦没者を追悼する。』とあります。

◆戦傷の碑

日中戦争及び太平洋戦争では、下関市からも多くの人が出征し
て戦没され、また約 10000 人の人達が戦傷者となりました。傷痍
軍人会及び妻の会により、このゆかりの地に平和祈念の象徴とし
て 1981年に戦傷の碑が建立されました。

◆編集後記

この公園は下関市街地が一望できるとても良い場所にあり、春
には桜も綺麗です。近代において、ここが実際の戦場となったこ
とはありませんが、この公園に行かれた際には、ぜひ国の為尽
くされた先人についても思いを馳せて戴きたいと思えます。

例によって、内容に関する責任は全て支部長にあり、特に規則
等に定めてあるもの以外は私の個人的見解が色濃く反映されて
いますので、ご意見等ございましたら遠慮なくお知らせ下さい。

★業務連絡：今年から委任状名簿作成の要なし★

毎年この時期、すべての隊友会会員様対象で議決権行使の委任
状作成のため、各手配りのリーダー様に確認作業をお願いしてお
りましたが、先日の会議により、今後はご意見がある方のみご一
報いただいたら往復葉書を送付させていただくという事が決定
しました。従いまして押印及び名簿作成の必要はありません。